



深谷中だより



NO. 212

令和5年 8月 30日

横浜市立深谷中学校

校長 榎田 卓央

夏休みが明けて、学校生活が再開されました。38日間の長期休暇でしたが、みなさんにとってはどのような日々だったのでしょうか？

学習面では、これまでの学びを振り返り、得意な教科を一層好きになれましたか？また、苦手だなあと感じていた教科を少しでも克服できましたか？

部活動では、大会やコンクールで活躍する姿を多く見ることができました。応援に行き、普段は学校では見ることのできない生き生きとした姿に感動を覚えました。みなさん一人ひとりが、この夏の経験を経て、一回りも二回りも大きく成長したことでしょう。

家庭での生活はどうだったのでしょうか？家族の方々と、コミュニケーションを深めることはできましたか？また、家族の一員として、お手伝い等中学生として進んで行うことができましたか？

夏休み期間中は普段できないことに取り組むようにと担任や学年の先生方からお話があったと思いますが、充実した日々を送ったことと思います。

さて、8月28日（月）から12月22日（金）までは、一年間の中で最も長い124日間を学校で過ごすこととなります。この期間は、前期・後期をはさんで、各教科の学びを深める大切な時期となります。また、合唱コンクールも開催されて、クラスの絆をさらに深める機会ともなります。そして、3年生にとっては、中学卒業後の進路を決める大切な時期もやってきます。進路の決定は、自身の生き方に直接つながる大切な取組となりますので、家族の方としっかり話し合っ決めていきましょう。先生方も、一人ひとりの進路決定に最大限の支援と手伝いをしていきますので、一緒に向き合っていきましょう。

今年の夏は、“猛暑”という言葉が定着してしまったかのような暑さが続いています。もうしばらくは、厳しい残暑が続きそうです。これからも、今まで通り感染症予防と熱中症予防につとめ、一人ひとり健康管理に気をつけて日々の生活を充実したものにしましょう。



令和5年 深谷中学校 人権標語

きみの「フツウ」は だれかの「トクベツ」